アラーム発生時の対応

① アラームが発生。
② アラームの表示を確認してください。（消音/リセットボタンを1度押すとアラームを消音できます。）
④ 下記アラーム対応表を参照し、問題を解決してください。
⑤ アラームの原因が改善されたことを確認し、消音/リセットボタンを押してアラームをリセットしてください。

APNEA/ APNEA XX bpm	無呼吸	・呼吸努力を感知していない ・アラーム設定が不適切	・患者の状態の確認 ・設定の確認
BAT EMPTY	バッテリー空	・内部バッテリー容量が空	・すぐに外部電源に接続してください
BAT LOW	バッテリー低下	・内部バッテリー容量が低下	・外部電源を接続してください
DISC/SENSE	チューブ外れ	・センサーラインチューブの外れ ・センサーラインチューブに水滴等が混入 ・呼吸回路の外れ又はリーク	・呼吸回路を点検又は交換してください
HIGH f	呼吸回数上限	・頻呼吸になっている ・アラーム設定が不適切	・患者容態を確認してください ・アラーム設定を確認してください
HI O_2 PRES	酸素供給圧上限	・酸素供給圧80PSIGを超えている ・低圧酸素ボタンが押された	・供給酸素圧力を確認してください ・設定を確認してしてください
HIGH PEEP	PEEP上限	・PEEPが設定値より上昇している ・アラームの設定が不適切	・PEEP付呼気弁を確認してください ・呼吸回路を点検又は交換してください ・アラームの設定を確認してください
HIGH PRES	吸気圧上限	・ファイティングが起こった ・痰のつまり ・呼吸回路の閉塞	・患者容態を確認してください ・吸引をおこなってください ・呼吸回路を点検又は交換してください
HW FAULT	ハードウェア異常	・機器内部の一時的な異常 ・周辺機器の影響 ・機器の故障	・アラームをリセットしても改善されない場合は最寄りの営業所に連絡してください ・周辺に強力な磁気を発生させる機器がないか確認してください
LOW MIN VOL	分時換気量下限	・呼吸回路のリーク ・呼吸回数又は一回換気量の低下 ・不適切なアラーム設定	・呼吸回路を点検又は交換してください ・モニター表示値Vte、fを確認してください ・アラーム設定を確認してください
LOW O_2 PRES	酸素供給圧下限	・酸素供給圧が35PSIGを下回った	・供給酸素圧力を確認してください
LOW PEEP	PEEP低下	・呼吸回路の外れ又はリーク ・不適切なアラーム設定 ・呼気弁ダイヤフラムのずれ	・呼吸回路を点検又は交換してください ・アラーム設定を確認してください
LOW PRES	吸気圧下限	・呼吸回路の外れ又はリーク ・センサーラインチューブに水滴等が混入 ・不適切なアラーム設定	・呼吸回路を点検又は交換してください ・アラーム設定を確認してください
NO CAL DATA/NO CAL Moniter Display	校正データ不良	・機器の校正不良	・機器を停止させ最寄りの営業所に連絡してください
POWER LOST	外部電源遮断	・外部電源が遮断、外部バッテリーの容量が空 ・ACアダプタ又は機器の故障	・電源が問題なく接続されているか確認してください。又は外部バッテリーを交換してください ・接続が正常で改善されない場合は最寄りの営業所に連絡してください
POWER LOW	外部電源電圧低下	・外部電源、外部バッテリーの電圧の低下	・電源の確認又は外部バッテリーを用意してください
REMOVE PTNT	患者取外し	・テストモードでの作動	・患者に取り付けていないか確認してください
RESET	リセット	・ON/スタンバイボタン以外での再起動	・繰り返し発生する場合には最寄りの営業所に連絡してください
XDCR FAULT	トランスデューサー不良	・圧力トランスデューサーの自動校正に失敗	・アラームをリセットしても改善されない場合は患者から取外し最寄りの営業所に連絡してください
作動不能ランプ点灯	作動不能	・ON/スタンバイボタンによる任意の作動停止 ・機器の故障	・任意の停止の場合数分でランプは消灯します ・機器の故障は最寄りの営業所に連絡してください

技術サービスは24時間対応

平日 9:00~18:00 ■ 営業所・出張所・駐在

夜間・土休日（営業所・出張所・駐在の応対日・応対時間以外）■ 機器安全センター

フリーダイヤル
0120-633-881

1048933
11/04/01

製造販売業者
パシフィックメディコ株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷2-6-4

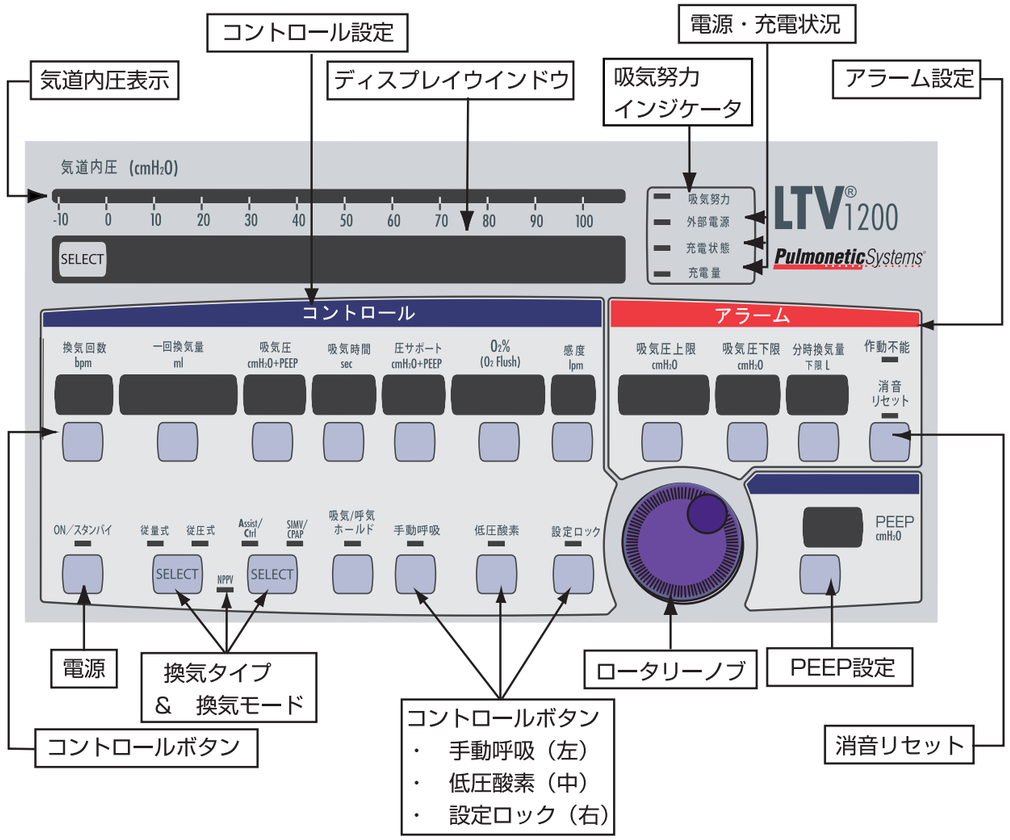
販売業者
フィリップス・レスピロニクス合同会社
本社 〒108-8507 東京都港区港南二丁目13番37号 フィリップスビル
マーケティング部 03-3740-3245
www.philips-respironics.jp

人工呼吸器LTV®シリーズ
LTV®1200 簡易取扱説明書

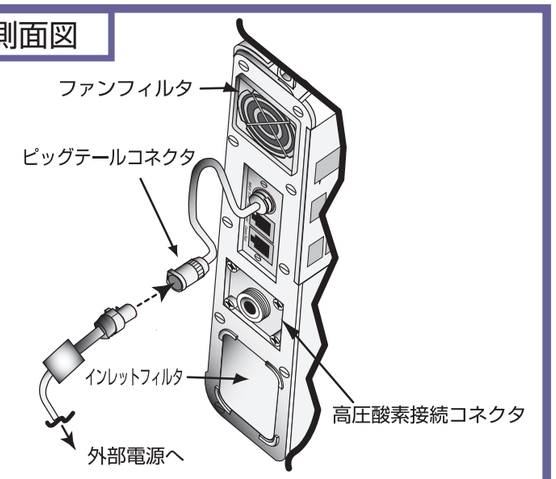
ご使用前には取扱説明書をご参照ください。

承認番号：21500BZY00042000

正面フロントパネル図

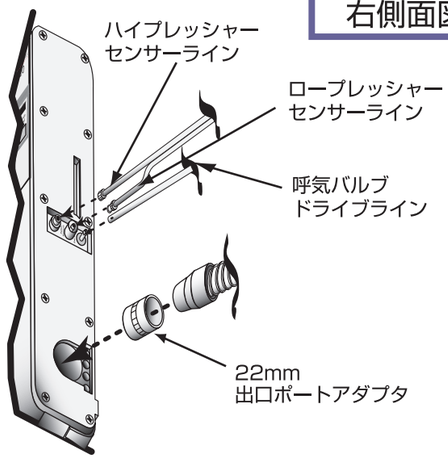


左側面図



① インレットフィルタは1週間を目安に交換してください。
② ファンフィルタは使用前に点検し汚れがある場合は清掃又は交換してください。

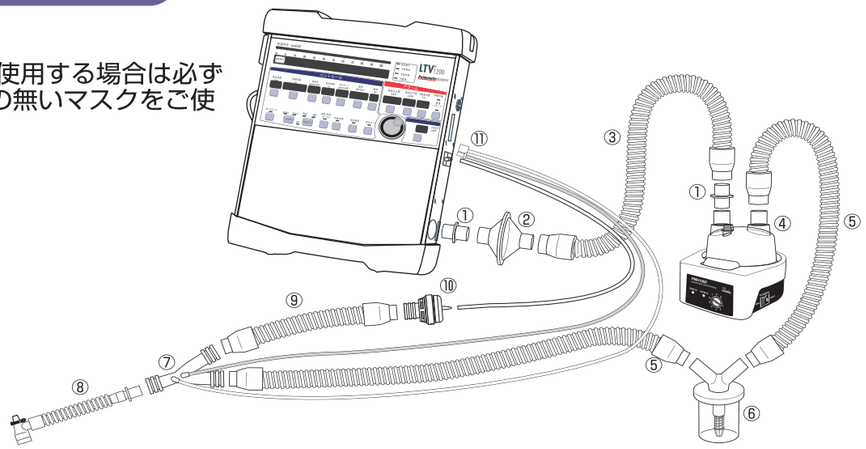
右側面図



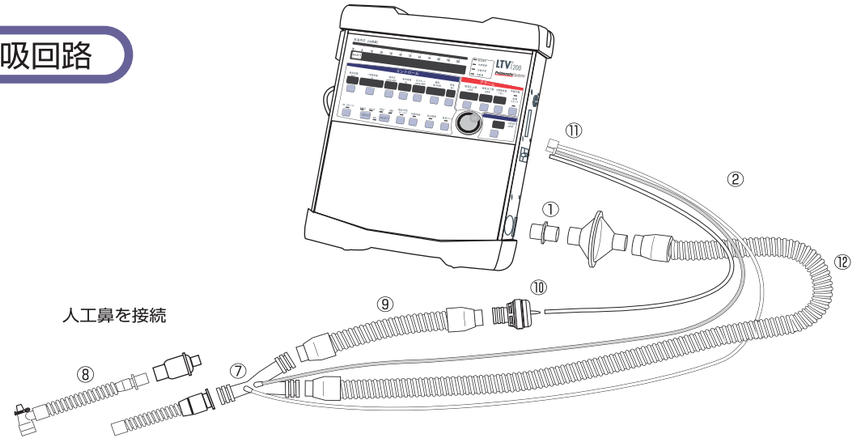
① 各種チューブは確実に接続してください。

加温加湿器呼吸回路

※NPPV で使用する場合は必ず呼気ポートの無いマスクをご使用ください。



人工鼻呼吸回路



① 22mmストレートアダプタ
② メインフローフィルタ
③ 60cm呼吸回路チューブ
④ 加温加湿チェンバー
⑤ 75cm呼吸回路チューブ
⑥ ウォータートラップ
⑦ LTV用Yピースアッセンブリ
⑧ フレックスチューブ
⑨ 60cm呼吸回路チューブ（グレー）
⑩ 呼気バルブ（PEEP無）
⑪ フローセンサーコネクタ
⑫ 180cm呼吸回路チューブ

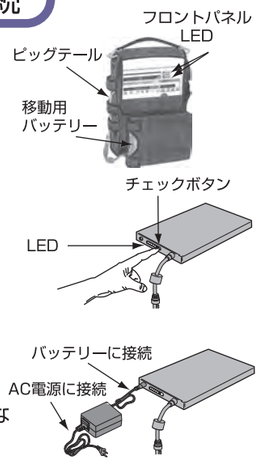
外部バッテリーへの接続

移動用バッテリー

① LTVを移動用のバックまたは移動する状態に設置してください。移動用バッテリーのコネクタをLTVに挿し込むと、外部電源ランプが点灯します。

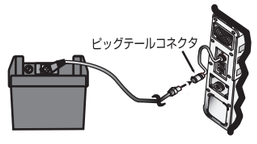
② バッテリーの残量はチェックボタンを押して確認してください。バッテリーでの作動は新品の状態で約3時間です。

③ バッテリーの充電は専用の充電器をご利用ください。空の状態から約7時間で満充電となります。

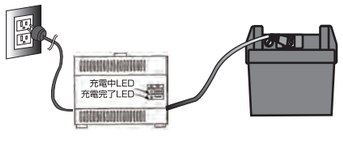


長時間外部バッテリー

① 専用のDCケーブルで外部バッテリーとLTVを接続すると、外部電源ランプが点灯します。このバッテリーでの作動は新品の状態で約9時間です。

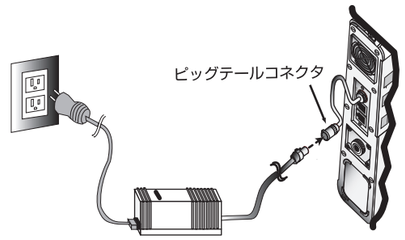


② 充電は専用の充電器を使用してください。約8時間で充電完了となります。



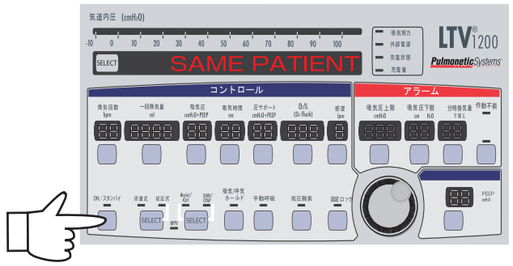
電源の接続

AC 電源へ接続



① ACアダプタのそれぞれのケーブルをLTVとコンセントに接続してください

機器の起動



① ON/スタンバイボタンを押すと機器が起動します。

PRESET機能について

PRESET機能が自動的に起動し、ディスプレイウィンドウに「SAME PATIENT」が表示されます。

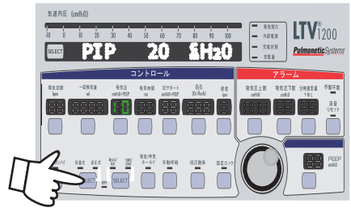
値設定のノブを回転させる事により、「SAME PATIENT／NEW PATIENT」のどちらかを選択できます。

SAME PATIENT：最後に使用した時と同じ設定で機能します。

NEW PATIENT ：患者のタイプが選べます。
乳幼児（INFANT）
小児（PEDIATRIC）
成人（ADULT）

設定操作

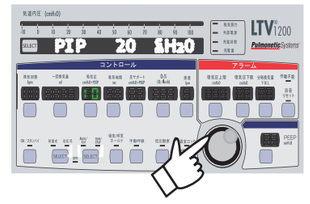
換気タイプ/換気モードの変更



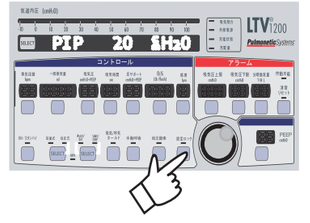
① 変更したい換気タイプ/換気モードの選択ボタンを１回押すと、ランプが点滅し、再度ボタンを押すことにより換気タイプ/換気モードが変更されます。

設定変更

① 設定を変更したい項目の下のボタンを１回押すと、ボタンを押した設定値のみが明るく点灯します



② 値設定ノブで数値を変更し、再度設定値のボタンを押すか5秒間放置することにより変更された数値は決まります。



③ 設定の終了時は「設定ロック」ボタンを押して設定をロックしてください